

●三位一体後第二十二主日

泉のほとり

今月の詩編「第七十六編」

神はユダに御自らを示され

イスラエルに御名の

大いなることを示される。

神の幕屋はサレムにあり

神の宮はシオンにある。



忍耐しなさい

悪口と裁きは自分自身の判断を神の権威より上にする事、裁きは神のもの、「律法を定め、裁きを行う方は、神さまのみ」であることを告げ、本来の自分の領分にへりくだるようにと教えられました。また「自分の命がどうなるか、明日のことは分からない」「霧に過ぎない、ほんのわずかの間の時」を、私たちはこの地上で生きることを確かめてきました。

教師ヤコブは次に「富んでいる人たち、よく聞きなさい。自分にふりかかってくる不幸を思つて、泣きわめきなさい」と教えています。兄弟たちは経済的に富んでいるのではなく、この富んでいる者たちへの警告を通して、兄弟たちにある世のうわべや金銭愛に捕らわれ、不幸な結末を迎えかねないやうにとの戒めです。

「あなたがたの富は朽ち果て、金銀もさびてしまいます。このさびこそが、あなたがたの罪の証拠となり、あなたがたの肉を火のように食い尽くすでしょう」、「畑を刈り入れた労働者にあなたがたが支払わなかつた賃金が、叫び声をあげています。刈り入れをした人々の叫びは、万軍の主の耳に達しました」と。当時の富んでいる者たちの不正や悪しき業が裁かれることなく免れたと安堵する様子を想像しますと、すべてが神に数えられていることを知らない人の愚かさと思うのです。

私たちの信仰は、生きておられる神の前を生きること、すべてを正しく裁かれる神がおられること、この事実をいかに事実として生きるかにあるのではないのでしょうか。

「兄弟たち、主が来られる時まで忍耐しなさい。農夫は秋の雨と春の雨が降るまで忍耐しながら、大地の尊い実りを待つのです。あなたがたも忍耐しなさい。心を固く保ちなさい」と語られました。

しかし、ヤコブ先生はそのために、まず「兄弟たち、裁きを受けないようにするためには、互いに不平を言わぬことです」と教えています。実りに至るまでの「忍耐」に向かつての第一歩は、不平を言わないこと。不平を言う時、人は

「自分」を見ないので。与えられる境遇が、自分に向けてのメッセージや知恵を語っているにも関わらず、それを聞くことができないのです。

この手紙の一章で「いろいろな試練にあう時は、この上ない喜びと思ひなさい。信仰が試されることで忍耐が生じる。あくまでも忍耐しなさい。そうすれば、完全で申し分なく、何一つ欠けたところのない人になります」と語られました。試練の只中にあれば人は、知恵を願うどころか、不平、嘆き、人や環境などを責め、自分の正しさを主張することが多いのです。

これまで見てきた教会は、えこひいきがあり、妬み、利己心、争い、戦い、悪口と裁き、同じ口から神への賛美と人への悪口が出ている状況でした。この深刻な状況を天の父が放つて置かれることなく、試練があり、「欠けたところのない者」とし、完全で申し分ない者とする」「お咎め立てせず、知恵を与えられる」と語られるヤコブのことばに、大きな神の慈しみを見るのです。

「あなたがたは、ヨブの忍耐について聞き、主が最後にどのようにしてくださったかを知っています。主は慈しみ深く、憐れみに満ちた方だからです」と教えています。誰よりも正しい人であったヨブでさえ、ヨブ記の最後に「塵と灰の上に伏し、悔いる」と言います。自分の口にある言葉捨て、へりくだった心で神を仰ぎ見るのです。試練を通して与えられた幸い、変えられた自分は、試練とは比べられないものでした。極度の苦しみを通つたヨブの知る神は「主は慈しみ深く、憐れみに満ちた方」ということでした。

罪もなく、その口に偽りのない主が、私たちの代わりに苦難を受けられ、試練を通られました。ましてや私自身を欠けたところのない、完全なものとするためにある試練は、この上ない喜びと思ひ、忍耐して生きるものではないでしょうか。主の時が近いのです。主イエスの忍耐を私たちの力の源泉とし、あらゆる時に、不平を捨て、忍耐を働かせて、与えられる神からの知恵を、命を得ていきたいと思ひます。

(ヤコブ五章一〜一一節黄允湜牧師)

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 本日は教会記念日礼拝です。主日礼拝において、「礼拝のしおり」八二ページにある日本基督教同教会信仰告白を唱和します。

○ 礼拝後、集合写真を正面玄関前で撮影します。その後、交わりの会(御言葉を分かち合う会)を地下ホールで行います。

○ 定例役員会をカナルルームで行います。役員の方はお集まりください。

○ 教員メールでお知らせした通り、小林千勢子姉が一月一四日(金)正午過ぎにお亡くなりになりました。葬儀の日程につきましては、決まり次第お知らせします。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《祈りの会より》

来週二三日に祈りの会を開きますので、皆さんご参加ください。一二時二〇分開始予定、場所は第二・三シオンルームです。

《礼拝伝道委員会より》

○ アドベントスケジュール(今年のクリスマス関連行事予定)

十一月二三日(日) 礼拝堂のみの木及び

エントランスのツリー、リースの飾り付け

十一月三〇日(日) アドベントのご挨拶

クリスマススイブ礼拝奉仕のための懇談会

十二月一三日(土) 幼稚園クリスマスマス(礼拝堂)

十二月二二日(日) <クリスマス礼拝>

子ども礼拝(礼拝堂) 午前9時20分

主日礼拝(礼拝堂) 開始時間調整中

クリスマス祝会、愛餐会(地下ホール)

十二月二四日(水) クリスマスイブ礼拝(礼拝堂)

午後六時三〇分

(二月四日(日) 飾り付け片付け予定)

《ディアコニアショップより》

二〇二六年度版「ローズンゲン」を御注文される方はロビー掲示板の張り紙にご記入をお願いします。価格は一四〇〇円(税込)、締切は十一月二三日です。

《シオンの会より》

十一月一九日(水) 一〇時三〇分～一二時シオンの会を第二第三シオンルームで行います。(オンラインも併用します。)

テキスト「使徒言行録を読もう」p.五七 八その顔は天使のように (六章八節～一五節 七章五四節～八章一三) を読みます。新しく参加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇七十六篇】指揮者によつて。

伴奏付き。賛歌。

アサフの詩。歌。

神はユダに御自らを示され

イスラエルに御名の太なることを示される。

神の幕屋はサレムにあり

神の宮はシオンにある。

そこにおいて、神は弓と火の矢を砕き

盾と剣を、そして戦いを砕かれる。

あなたが、餌食の山々から

光を放って力強く立たれるとき

勇敢な者も狂気のうちに眠り

戦士も手の力を振るいえなくなる。

ヤコブの神よ、あなたが叱咤されると

戦車も馬も深い眠りに陥る。

あなたこそ、あなたこそ恐るべき方。

怒りを発せられるとき、

誰が御前に立ちえよう。

あなたは天から裁きを告知し

地は畏れて鎮まる

神は裁きを行うために立ち上がり

地の貧しい人をすべて救われる。

怒り猛る者もあなたを認める

あなたが激しい怒りの名残を

帯とされるとき。

あなたたちの神、主に誓いを立て、

それを果たせ

取り囲むすべての民は

恐るべき方に貢ぎ物をもたらすがよい。

〔司・会〕

地の王たちの畏れる方は

支配者の霊をも断たれるであらう。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「与える幸いの道へ」

聖書 使徒20章31〜35節

説教者 宮間彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「元気を出しなさい」

聖書 使徒27章13〜26節

説教者 宮間彰広兄

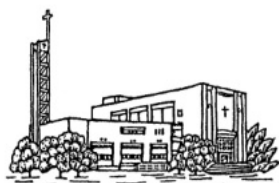
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 502番 293番

説教 「正しい祈りの人は」

聖書 ヤコブ5章12〜20節

説教者 黄允湜牧師





教会記念日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 70番 77番
説教 「品川教会の原点」
聖書 申命記26章1～11節(旧約 P.320)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 吉村 和雄 名誉牧師

前奏曲「きよけき心」 S.カルク=エラート

○讃美歌70番

- 1.父 み子 み霊の ひかりの主よ
我らのこころの 闇を照らし
主の宿りたもう きよき幕屋
けがれなき宮と なさせたまえ
- 2.みまえに仕うる みつかいらは
み顔をあおぎて たたえうたう
泥なる我らも ほめうたをば
真心をこめて 捧げまつらん
- 3.輝きかがやく みすがたには
みつかいの群も おもてを伏す
朽つべき我らはいかにすべき
みゆるしを祈る ほかはあらじ

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○聖歌隊による讃美

「主に感謝せよ」 G.F.ヘンデル 曲
感謝せよ わが主に 主は海を分かちて
み民を導く 主はわが羊飼ひ
み手もて 常にやさしく導きたもう
感謝せよ わが主に 主は海を分かちて
安らに導く 導き給えとこしえに

○讃美歌77番

1. み神はちからの きみにませば
あめつち御旨の ままにぞある
み神のみこえに あまつそらの
かがやき回れる 日もとどまる
2. 山なすあらなみ さかまきつつ
巖もさけよと 寄せ来ばこよ
み神はみうでを たかくあげて
たちまち浜べに つなぎ給わん
3. 荒ぶる夜あらし 声たけりて
ちからの限りに 吹き来ばこよ
み許しあらずば みねの松に
かけたる小鳥の 巢もうごかじ
4. すべての民らよ 主のみまえに
かしこみ平伏し み名をほめよ
世界のきみたち ひざまずきて
み神のみいつを うたいまつれ

アーメン

聖餐曲 「いと高きにある神にのみ栄光あれ」 J.S.バッハ

後奏曲 「いざやともに」 L.レーヴ